2009.6.29
PRESS RELEASE
森ビル株式会社

六本木ヒルズ展望台
TOKYO CITY VIEW 東京シティビュー

海抜 250mで体験！幻想的で涼やかな真夏のイリュージョン

天空の水族館『スカイ　アクアリウムIII』

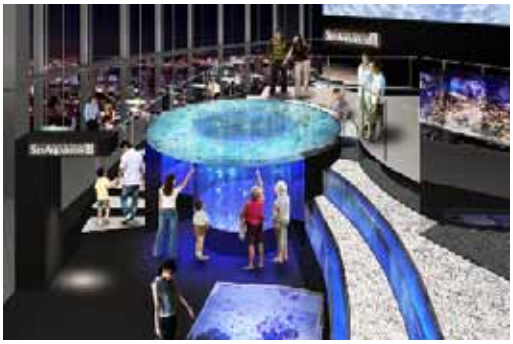
7 月 17 日（金）～10 月 4 日（日）開催

六本木ヒルズ展望台 東京シティビューは、夏季限定イベントとして『スカイ アクアリウムIII』を 7 月 17 日（金）から 10 月 4 日（日）まで開催します。“空の世界＝眺望”と“水中の世界＝アクアリウム※1”が融け合う天空の水族館「スカイ アクアリウム」は、幻想的で涼やかな水中世界を海抜 250m で楽しめる真夏のイベントで、今年で 3 回目※2 を迎えます。

今年のテーマは"イリュージョン"。会場は 6 つのゾーンから成り、ゾーン毎に全く異なる表情を見せる幻想的な水中世界は、驚きの連続です。『スカイ アクアリウムIII』でしか味わえない、天空と水中の世界が繰り広げるイリュージョンを、この夏ぜひご体験ください。

【天空に浮かぶカリブ海。上からも下からも観られる巨大水槽が初登場！】

新宿副都心を望む会場入口に、カリブの青い海をイメージした「カリビアン・ブルーホール」が登場。過去最大の水槽は様々な角度から水中世界を眺められ、下から覗けばカリブの海に潜ったかのような気分を味わえます。色とりどりの魚たちが、昼は壮大な都市の空を、夜は煌く夜景の中を泳ぐ姿をご鑑賞ください。観る角度と時間によって、全く違う印象を楽しめます。



直径 4m、高さ 2.6m、水量約 7t と過去最大の「カリビアン・ブルーホール」（イメージ）

【驚きと迫力！水中世界×アート･光･万華鏡…不思議な世界が続々登場】

6 つの各ゾーンには「水中世界」と「アート」「光」「万華鏡」など、意外なコラボレーションによって驚きと迫力を提供する演出が多数施されています。アクアリウムアーティストによる美の競演「アート・アクアリウム・ギャラリー」、幻想的なクラゲの世界「ファンタジア」、万華鏡で水中世界を覗く「カレイドリウム」など、水中世界のイリュージョンをお楽しみ頂けます。

行灯水槽が楽しめる「ジャポニスム・ギャラリー」（イメージ）

【『スカイ アクアリウムIII』イベント概要】

▽イベント名：『スカイ アクアリウムIII』
▽期　　間：2009 年 7 月 17 日（金）～10 月 4 日（日）
▽場　　所：東京シティビュー(六本木ヒルズ 森タワー52F)内
▽開館時間：11：00～24：00（最終入館 23：30）　※9/5（土）は 22：00（最終入館 21：30）まで。
▽料　　金：一般 2,000 円 ／ 高校･大学生 1,500 円 ／ 4 歳～中学生 700 円
※東京シティビューの入館料（一般 1,500 円／高校･大学生 1,000 円／4 歳～中学生 500 円）を含みます。

※1 アクアリウムとは、海水や淡水の生態系を維持しながら、魚や珊瑚、水草、岩などを用いて水槽の中につくる美しい水中世界のことです。
※2 初開催は 2007 年。以降、アンコールを望む来館者の声に応え、毎年内容を一新して開催。昨年と一昨年を合わせてこれまでに、延べ 50 万人以上を動員しました。昨年来館者に行ったアンケートでは 98%の人が「また来たい」と回答しています。（自社調べ）

【『スカイ アクアリウムIII』会場構成】

1. 天空に浮かぶカリブ海「カリビアン・ブルーホール」

六本木ヒルズの今夏のテーマは「CARIB in Roppongi Hills」。これに合わせて『スカイ アクアリウムIII』では、カリブ海の「ディーンズ・ブルーホール」を展望台に再現します。ブルーホールとは浅瀬に突如現れる巨大な海の穴で、洞窟や鍾乳洞が水没してできたものと考えられています。これを再現した水槽を泳ぐのは、カリブ海に生息する魚たち(予定)。水槽を下から眺めれば、まるで海の底にいるかのような気分を味わうことができ、ステージの上から眺めれば、魚たちが天空を泳いでいるように見えます。

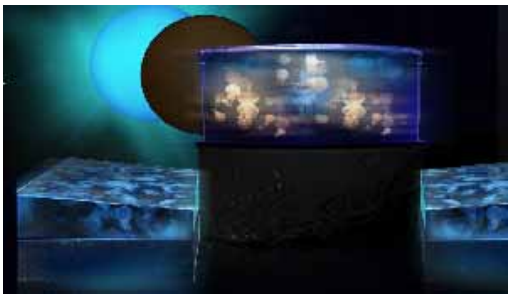
2. アーティスティックな水槽美術館「アート・アクアリウム・ギャラリー」

毎年人気の『アート・アクアリウム・ギャラリー』が今年も登場。今回は、10 人のアクアリウムアーティストが手掛けたオリジナリティあふれる水槽をアート作品のように展示します。魚や珊瑚や水草など、自然の生命体がつくり出す水中世界は、絶え間なく変化する芸術作品です。

「アート・アクアリウム・ギャラリー」(イメージ)

3. 光に揺らめく海の月「ファンタジア」

クラゲは漢字で書くと「海月」。水中を浮遊するクラゲと、会場の壁に映し出された青い太陽が、幻想的な宇宙空間を生み出します。また、色が次々に変化するレーザー光線に照らされ、妖しく光るクラゲも登場するなど、神秘的な美しさにあふれた空間です。7 月 22 日の皆既日食前後の期間は、青い太陽が欠けていく演出も。


「ファンタジア」(イメージ)

4. 金魚の美を愛でる和空間 「ジャポニスム・ギャラリー」

金魚は観賞魚として人が作り出した、生きた芸術品です。その金魚が最も美しく見えるよう、空間をデザインしました。階段状に並べた平型水槽では、上から観るのが美しい「上見」の金魚を中心に、また天井から吊るした行燈水槽では、横から観るのが美しい「横見」の金魚を中心にご覧になれます。また、行燈水槽は側面をレースで加工しているため、中を泳ぐ金魚の姿と影が複雑に折り重なって見えるという、金魚の新たな魅力を引き出す作品です。

5. 魚たちが描く幻想美「カレイドリウム（万華鏡）」

魚が優雅に泳ぐ、横長の水槽。その側面には三角形のレンズが埋め込まれていて、中を覗くと幾何学模様が現れます。それは、魚たちが描く万華鏡。レンズのそばを魚が泳ぐたび、模様が美しく変化します。少し離れてマクロから魚の姿を楽しむことも、近づいてミクロの世界を楽しむこともできます。

「プリズリウム」(イメージ)

6. 不思議な視覚をもたらす光の魔術 「プリズリウム」

光の屈折がマジカルな視覚をもたらす多面体の巨大水槽が 2 種類登場。十八面体の水槽（直径 1.2m×高さ 0.9m）※には蓋がなく、上から投影する光によってダイヤモンドのように輝くため、キラキラひかる水中を泳ぐ魚が大きく見えたり、小さく見えたり、時に歪んで見えたり、いたずらな視覚を楽しめます。八個の三角柱型水槽を円状に並べた水槽（直径 1.2m×高さ 0.7m）※は、まるで魔法の世界。顔を近づけると、そこに見えるはずのない向こう側の水槽の魚が、手前の水槽の魚と一緒に泳いでいるように見えます。

※ 台座などを含まない、水槽部分のみの大きさです。

【『スカイ　アクアリウムIII』魅力とポイント】

≪魅力1≫ 〔唯一〕 都市の空と水中世界が融け合う幻想空間
新宿副都心を望む展望ギャラリーに登場する「カリビアン・ブルーホール」は、過去最大、頭上を見上げるほどの巨大水槽（直径 4m×高さ 2.6m）です。上から覗くと、海面に都市の眺望が映って揺らめき、下から見上げると、海が天空に浮かんでいるかのような、不思議な感覚を味わえます。海抜 250m の眺望をアクアリウム越しに楽しめるのは、『スカイ　アクアリウムIII』だけ。

≪魅力2≫ 〔芸術〕 新しい文化、水中アートの誕生
「スカイ アクアリウム」は、既存のいわゆる水族館とは全く異なるアーティスティックな世界です。水槽に魚の名前は書いてありません。これは、魚単体ではなく、水中世界の美しさのすべてを、水槽のデザインを含めてひとつの芸術作品として味わっていただきたいためです。

≪魅力3≫ 〔流転〕 その日･その時･その場所だけの特別な景色と魅力
東京の眺望は、時間や天候によって様々に変化します。アクアリウムもまた、水中の生命体が、その時々で異なる表情を見せてくれます。生命体は時間とともに育つため、一瞬として同じ世界を形作ることはありません。「スカイ アクアリウム」は、来るたびに新しい表情を楽しめます。

≪魅力4≫ 〔納涼〕 夏を癒す、涼やかな水中世界
今年で 3 回目を迎える「スカイ アクアリウム」は、もはや夏の風物詩。天空を泳ぐ色とりどりの魚、蓋のない水槽、優雅に流れる水の音、美しい水中世界――真夏の都市を癒す、新しい涼みの世界をご堪能ください。

≪魅力5≫ 〔環境〕 すべてはこの地球上に存在するもの
すべてのアクアリウムは、自然の生態系を維持しています。もちろん、魚や珊瑚など、生命体に害を与えることはありません。アクアリウムの美しさは、すべて、この地球上のどこかに存在するものです。地球の贈りものともいえる豊かな自然を身近に感じて、環境に思いを巡らせてほしい――「スカイ アクアリウム」には、そんな願いも込めています。

【期間限定カフェ】

『スカイ アクアリウムIII』の開催期間中、「カリビアン・ブルーホール」の隣にカフェをオープンします。東京の眺望に融け合うカリブの海をグラス越しに味わえる、贅沢な空間です。夏の暑さを忘れ、しばし夢のような世界をお楽しみください。

▽営業時間： 11：00～24：00（LO23:30）
▽メニュー： アルコールカクテル５種、ノンアルコールカクテル３種
▽料　　金： ￥700～

【『スカイ アクアリウムIII』音声ガイドが初登場】

水中世界の美しさを芸術作品として味わっていただけるよう、美術館でお馴染みの音声ガイドを『スカイ アクアリウムIII』に導入。各アクアリウムに込められたアクアリウムアーティストの想いやコンセプトがわかると、作品の観方、見え方が変わり、より一層楽しめます。

▽期間：7月下旬～（予定）　　▽料金：500円（予定）

【総合プロデューサー　木村英智（きむら・ひでとも）氏】

今年も木村英智氏が総合プロデューサーを務めます。木村氏は、「アクアリウム」と自身がライフワークとして追求している「デザイン」「インテリア」「アート」を融合させるアクアリストの第一人者。世界中に自ら足を運んで珍しい観賞魚を収集し、熱帯魚貿易事業やイベントプロデュースなどを手掛けています。また、海の環境を考える「ONE OCEAN」プロジェクトの東京代表を担うなど、自然保護活動にも尽力しています。

【『スカイ　アクアリウムIII』イベント概要】

▽イベント名：　『スカイ　アクアリウムIII』
▽期　　間：　2009年7月17日（金）～10月4日（日）
▽場　　所：　東京シティビュー(六本木ヒルズ　森タワー52F)内
▽開館時間：　11：00～24：00（最終入館23：30）　※9月5日（土）は22：00（最終入館21：30）まで
▽料　　金：　一般 2,000円　／　高校・大学生 1,500円　／　4歳～中学生 700円
※東京シティビューの入館料を含みます。
▽総合プロデュース：　木村英智（株式会社エイチアイディー・インターアクティカ　代表取締役）
▽主催：スカイ　アクアリウム実行委員会　　▽後援：　Oceans Reefs and Aquariums Japan
▽協賛：ＮＴＴドコモ　　▽特別協力：アクアリウム　クリエイターズ　オフィス
▽協力：カラーキネティクス・ジャパン、セイコーエプソン、PS Laser、マックスレイ、
マーチン　プロフェッショナル　ジャパン、モリテックス、アクアプロジェクト、
東京コミュニケーションアート専門学校、神畑養魚、キョーリン、MMC企画レッドシー事業部、
日本動物薬品、バイコム、水作、マルウ、豊商事、アクアフォレスト、アクアワールド、イコール、H2、GINSUI、
スプラッシュ、東京サンマリン、ビオグラフィカ、UWS、浅田洋写真事務所、

【東京シティビュー基本情報】

高さ11mを超える吹き抜けと360度ガラス張りの開放感あふれる空間にショップやカフェが併設された都市型展望施設。また、オープンエアの展望施設として日本一の高さを誇る森タワー屋上『スカイデッキ』では東京上空を吹き抜ける風や大都会の空気を肌で感じられます。

▽入 館 料：一般 1,500円　　学生（大学生・高校生）1,000円　　子供（4歳～中学生）500円
※展覧会開催期間中の森美術館（53F）にもご入館いただけます。
[スカイデッキ]一般・学生　上記の金額にプラス300円
▽時　　間：[夏季特別営業時間(7/17～10/4)]
10：00～25：00（最終入館24：00）
[スカイデッキ]　11:00～22:00（最終入場21:30）
※スカイデッキは天候不良等の理由により予告なく閉鎖する場合があります。
▽お問合せ：　〒106-6150　東京都港区六本木6-10-1　六本木ヒルズ森タワー52Fおよび屋上（スカイデッキ）
TEL：03-6406-6652　/　FAX：03-6406-9355
URL：http://www.roppongihills.com/tcv/　　E-mail：info@tokyocityview.com

[本件に関するお問い合わせ]
森ビル株式会社
東京シティビュー広報担当　／田澤・内田・水口
TEL：03-6406-6173　FAX：03-6406-9355　pr@tokyocityview.com

株式会社　プラップジャパン　／　江川・赤川・右山
TEL：03-3486-7355　FAX：03-3486-7507

SKY AQUARIUM III

天空の水族館
スカイ アクアリウム

会 期　2009年7月17日[金]～10月4日[日]
会 場　六本木ヒルズ　東京シティビュー(森タワー52F)

アクアリウムとは、熱帯魚やサンゴ、水草や岩などを用いてつくる水槽世界のこと。
『スカイ アクアリウムⅢ』は、“空の世界=眺望”と“水の世界=アクアリウム”が
融け合う幻想的な空間を楽しめる天空の水族館です。

画像は全てイメージです。(6月29日時点)

天空のリゾートカフェ
アクアリウム・カフェ

『スカイ アクアリウムⅢ』の開催期間中、「カリビアン・ブルーホール」の隣にカフェをオープンします。東京の眺望に融け合うカリブの海をグラス越しに味わえる、贅沢な空間です。夏の暑さを忘れ、しばし夢のような世界をお楽しみください。

時　間: 11:00～24:00(L.O. 23:30)
メニュー: アルコールカクテル5種、ノンアルコールカクテル3種
価　格: ¥700～

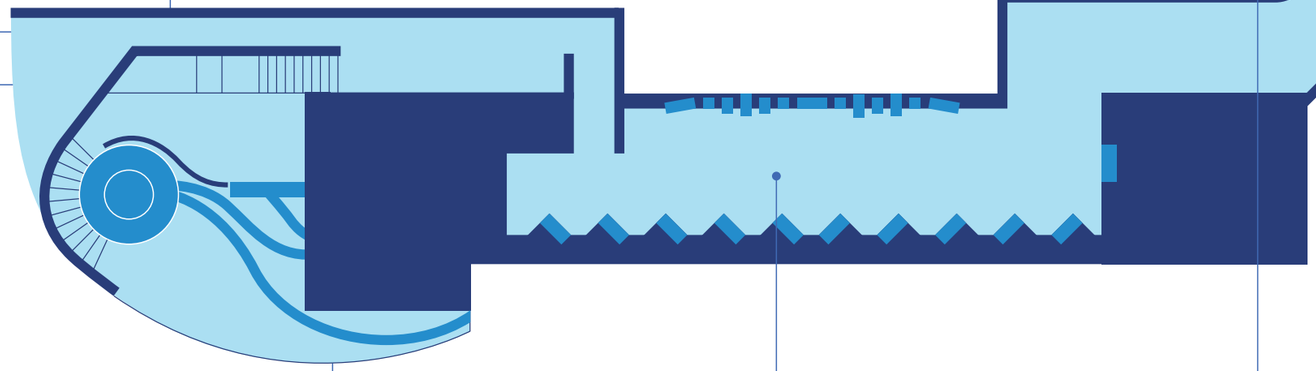
めざせ! サカナ博士 ¥100
夏休みの自由研究2009
ケータイ待ち受け画像付きお魚カード販売!

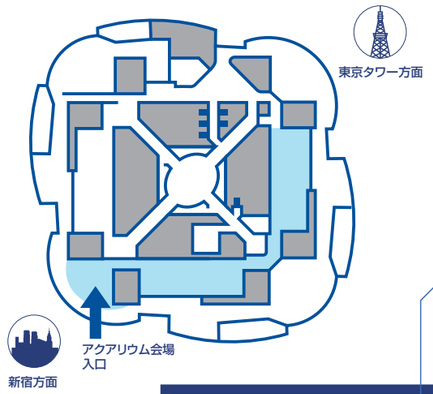
楽しく作って、遊んで、そしてお勉強もできる毎年大人気のオリジナル「夏休み自由研究キット」。
今年も『スカイ アクアリウムⅢ』にちなんだ魚シリーズでご用意します。

販売期間:7月17日～10月4日(予定)
※なくなり次第販売終了

天空に浮かぶカリブ海
カリビアン・ブルーホール

新宿副都心を望む展望ギャラリーに出現するのは「カリビアン・ブルーホール」。カリブ海にあるブルーホール(洞窟や鍾乳洞が水没してできた巨大な海の穴)を再現したもので直径4m、高さ2.6mの巨大水槽となります。



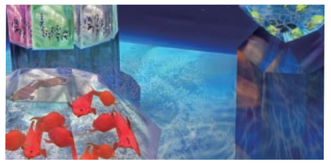


金魚が描く万華鏡
カレイドリウム

水槽に埋め込まれた三角形のレンズを覗くと幾何学模様が出現。それは、魚たちが描く万華鏡。レンズのそばを魚が泳ぐたびに、模様が美しく変化します。

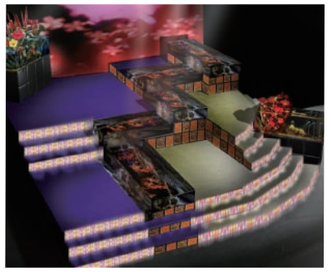
不思議な視覚体験
光の魔術
プリズリウム

上から光を投影することによってダイヤモンドのように輝く十八面体の水槽。魚たちが大きく見えたり、小さく見えたり、歪んで見えたりと、光の屈折がマジカルな視覚をもたらします。



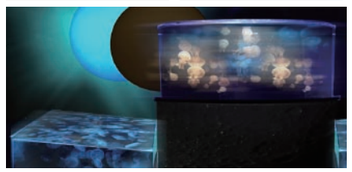
金魚の美を
愛でる和空間
ジャポニスム・ギャラリー

最も身近な観賞魚、金魚が最も美しく見えるようデザインされた和の空間。
天井から吊るされた行燈水槽では、側面に施された透かし模様と中を泳ぐ金魚の影が、複雑に折り重り、妖しいほどの美しさを放ちます。



アーティスティックな
水槽美術館
アート・アクアリウム・ギャラリー

毎年人気のコーナー。今年も10人のアクアリウムアーティストが手掛けた最新作が並びます。魚や珊瑚や水草など、自然の生命体がつくり出す水中世界は、絶え間なく変化する芸術作品です。

揺らめく青い海の月
ファンタジア

クラゲは漢字で書くと「海月」。水中を浮遊するクラゲと、会場の壁に映し出された青い太陽が、幻想的な宇宙空間を生み出します。